

令和 4 年度（2022 年度）

豊中市市民ホール等

事業報告書

令和 5 年(2023 年)5 月

豊中市市民ホール等指定管理者

JCD・日本管財・大阪共立グループ

令和4年度（2022年度） 豊中市市民ホール等 事業報告書

[目 次]

1. はじめに（事業の総括）	2
2. サービスレベル評価項目の目標達成状況について	4
3. 市民ホール等の基幹事業に関する業務	
（1）鑑賞事業	5
（2）普及育成事業（人材育成・ボランティア育成等）	6
（3）情報提供事業	13
（4）相談事業	13
（5）友の会事業	14
（6）広報・宣伝事業	14
4. 施設の運営に関する業務	
（1）貸館事業（施設の提供）	19
① 施設利用状況表	19
② 施設来館者数集計表	20
③ 各施設の利用状況について	21
5. 施設及び設備の維持管理に関する業務	
（1）舞台の管理に関する業務	22
（2）施設及び設備の維持管理に関する業務	22
（3）コミュニケーションロビー・ビュッフェの活用	23
（4）託児サービス及びキッズルーム	24
6. 運営組織についての報告	
（1）職員研修の取り組み、SDGsの推進等	24
7. 収支報告書	26

1. はじめに（事業の総括）

豊中市市民ホール等指定管理者 JCD・日本管財・大阪共立グループは豊中市より豊中市市民ホール等指定管理者として指定を受け、「豊中市市民ホール等の管理運営に関する基本協定書」「同年度協定書」及び「令和4年度事業計画書」に基づき、施設の管理運営業務を行った。基本協定書第25条の規定に基づき、指定管理者による豊中市市民ホール等の令和4年度業務実績を以下の通り報告する。

市民ホール等指定管理第二期の2年目にあたる本年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルスへの十分な対策を講じ、利用者の安全で安心な施設利用の確保とともに、管理運営業務サービス水準の維持向上に努めた。業務仕様書の基準に沿った業務推進とあわせて、市民ホール等事業の取り組みにあたっては、「市文化芸術推進基本計画（以下、基本計画）」「市南部地域活性化構想」等、関連上位計画との整合を図りながら、独自色ある人材育成事業や鑑賞事業の実施、劇場ブランドの強化を図る取り組みを実践するとともに、各施設に与えられたミッションの達成をめざし中長期的視点による事業展開に努めた。

施設運営においては、前年度に引き続き、4施設の包括的かつ効果的な管理運営体制の構築とさらなる利用者サービスの向上に努めた。とりわけ市民ギャラリーの運営では、これまでの施設利用のルールを一部改訂することで、利用者満足度向上とあわせて、利用者ニーズに即したサービスの提供において一定の成果を残すことができたと考える。

また、本年度は新型コロナウイルス感染拡大に起因する臨時休館や利用制限等は無かったが、国及び府、市の基準や関連団体ガイドラインにもとづく措置とあわせて、消毒作業や飛沫対策等、館内の衛生管理を徹底し、安全で安心な施設環境の維持に努めた。結果、新型コロナウイルスにかかる事故やクラスター等を発生させることなく、利用者や市民サービスへの影響を最小限にとどめることができた。

施設稼働については、すべての施設でおおむね過去最高水準の90%程度まで回復したものの、催事の定員制限やオンライン配信サービス普及の影響等もあり、年間利用者数については過去最高水準ではあるものの85%程度にとどまった。

SDGs推進の取り組みでは、前年度、指定管理者代表企業名で豊中SDGsパートナー登録を行ったことを機に、各館職員がSDGsに関連する研修会やワークショップへ主体的に参加するほか、主催事業チラシをはじめ情報紙「aperitif」へのSDGsパートナーロゴ掲載など、年間を通じて積極的な活動に努めた。

文化芸術事業の取り組みにおける成果として、主要事業の一つである「センチュリー豊中名曲シリーズ」において、開館以来初となるシリーズ年間平均来場者数1,000名超を達成することができた点を特筆したい。また、人材育成事業「とよなかARTSワゴン」では、さらなる地域との接点づくりに努めたことで、豊中ならではの独自性、また多様性あるプログラムの展開につながった。基本計画の主要プログラムである小学校へのアウトリーチ事業は、市内10校全97回を実施し、十分な事業成果を得ることができたと考える。

市民アートコーディネーター育成プログラムは、令和3年度及び本年度生あわせて13名

が通年参加し、地域を知り地域の中で活動する市民による新たな文化活動の萌芽となっている。次年度もこれまでの取り組みを継続発展させることで、本施設を中心とした地域における有機的ネットワーク（文化的コモンズ）の形成と本事業のさらなる活性化を図りたい。

広報・宣伝事業では、本年度新たに公演アーカイブの構築に取り組んだ。特色ある公演の実績をレポート記事とともにWEBサイトに掲載することで、事業成果の可視化と新たなファン層の獲得、劇場ブランドのさらなる発信強化に努めた。執筆者には市内在住の音楽ライターや大阪音楽大学大学院修了生、レジデントアーティストを修了した演奏家など幅広い人材を起用することで、独自性ある事業展開と活動の循環を図っている。

今期から新たに仕様書で規定された現代アート、メディア芸術の取り組みでは、「小田香氏によるリサーチプログラム」、「MATHRAX展」をそれぞれ実施し、劇場を有する施設機能や地域文化資源の活用等、豊中ならではの事業展開と多様な文化芸術関心層への訴求につながったと考える。また、大規模展覧会として、豊中出身で世界的アーティスト新宮晋氏の創作活動を紹介する「豊中から世界へ 新宮晋展」を企画開催した。立体作品、映像、絵本原画の展示のほか、ゆかりの方々とのトークイベント等、独自性ある事業展開で広い地域から多くの来場者の獲得につながった。

友の会「club CaT」の運営では、前年度に引き続き低調傾向となったが、著名アーティストの公演誘致もあり、年度末の会員数は前年度から約70名増加することができた。チケット先行予約や優待販売だけでなく、入会キャンペーンの実施や店舗との連携による優待サービスの拡充、優待店舗マップの制作等、会員増を図る取り組みに努めた。

事業収支及び経営面では、利用料金収入の確保とあわせて、施設管理費の縮減による安定的で効率的な運営を達成することができたが、収支ともにいくつかの費目で計画数値より差異が生じた。利用料金収入においては、新型コロナウイルスの影響が一定あったものの、文化芸術センター3ホールを中心に施設利用が回復、一定水準の稼働率で推移したことにより、年間計で計画を上回る収入があった（計画比102.8%、前年比153.5%）。一方で燃料費急騰にともなう電気及びガス料金の高騰（約20,000千円悪化）により、決算数値に大きく影響がでた。事業費では新型コロナウイルスの影響のほか、一部の公演でチケット収入が伸びず、年間で計画より減収となり、友の会収入も当初目標額に届かなかった。翻って、事業財源については、経費計画の見直しや助成金の獲得等の施策が奏功し、概ね当初予算額の範囲で執行することができた。

精算の部では、備品購入費、修繕費、学校減免利用補助金の未執行分と前述の光熱費高騰にともなう市による補償金をそれぞれ精算計上した。結果、精算の部を含む市民ホール等全体の決算としては、収入額が支出額より下回る収支結果となった。

各事業及び業務の取り組み実績については、以下に項を分けて報告を行うが、いくつかの項目で目標水準未達等の課題を残した。本年度の課題の検証とともに、計画実施状況を適正に把握し、次年度運営への改善とさらなるサービス水準の維持向上につなげたい。

2. サービスレベル評価項目の目標達成状況について

分類	サービスレベル評価項目	要求水準	R4年度目標	R4年度実績	目標達成率
施設の 効 用	文化芸術センター大ホールの年間平均利用率	70%	70%	79.4%	113.4%
	文化芸術センター中ホールの年間平均利用率	70%	70%	83.7%	119.6%
	文化芸術センター小ホールの年間平均利用率	70%	70%	97.7%	139.5%
	ローズ文化ホールの年間平均利用率	60%	60%	75.5%	125.9%
	伝統芸能館の年間平均利用率	70%	70%	78.7%	112.4%
	市民ギャラリーの年間平均利用率	60%	60%	63.5%	105.8%
	文化芸術センター展示室の年間利用率	60%	60%	93.7%	156.2%
	文化芸術センター多目的室の年間利用率	60%	60%	91.2%	152.1%
	文化芸術センター、ローズ文化ホールの年間来場者数合計	410,000人	410,000人	427,778人	104.3%
事業	4ホール（文化芸術センター大ホール・中ホール・小ホール、ローズ文化ホール）で実施する事業の1事業あたりの平均参加率 参加率＝1事業の来場者数/ホール設定席	50%	50%	62.0%	106.4%
	友の会の会員数	1,000人	1,000人	798人	79.8%

※年間平均利用率＝年度分の利用日数/一年度間の利用可能日数×100

市民ホール等の指定管理業務開始にあたり設定した「令和4年度サービス水準目標」の達成状況について、以下の通り確認する。

- ①4ホール（文化芸術センター大中小、ローズ文化ホール）の年間平均利用率は、84.1%（前年 79.2%）となり、目標及び前年数値を大きく上回る結果となった。ホール別では、大ホールが 79.4%と前年数値（71.2%）を上回った。中ホールもリニューアル効果もあり、83.7%と目標及び前年数値（56.1%）を大きく上回った。小ホールは 97.7%（前年 92.6%）と要求水準を大きく上回り、4ホールで最も高い数値を記録した。ローズ文化ホールは 75.5%（前年 76.8%）、伝統芸能館は 78.7%（前年 79.5%）、市民ギャラリーは 63.5%（前年 67.4%）といずれも要求水準を上回る結果となった。
- ②展示室、多目的室の利用率は、展示室 93.7%（前年 64.1%）、多目的室 91.2%（前年 86.8%）と、いずれの施設も 90%を超える高い水準での稼働となり、前年度から大幅増となった。主催事業での活用とあわせて、多様な情報発信や主催者への利用提案、また意匠性と利便性の高い施設機能の周知が奏功した結果と考える。
- ③文化芸術センター及びローズ文化ホールの年間来場者数は 427,778 人（前年 240,229 人/

前年比 178%)と、要求水準を達成した。高稼働率に比して、年間来場者数が大きく伸びなかった点は、新型コロナウイルスによる催事の定員制限やオンライン配信サービス普及等が一定影響したと考える。

- ④ホール（鑑賞型）事業の平均参加率は 62.0%と目標水準は到達したが、前年度（66.5%）より減少する結果となった。なお、参加率算出の対象事業は各ホールを会場とする鑑賞型事業とし、客席設定数は各公演とも収容率制限を含む数値を基準とした。年度後半には収容率制限が緩和されたこともあり、設定客席数に占める参加割合が減少した。次年度においてはアフターコロナにおける人流の回復と拡大を視野に、幅広い公演ジャンルで参加率の向上を図っていききたい。なお、映画上映会（とよキネマ）については、会場設定の要因が大きく、他の公演に比べて総じて低い参加率となるため、平均参加率の対象外とした。
- ⑤友の会会員数については、令和5年3月末で有効会員数が798人（前年729人）と前年度から若干増加したものの、要求水準未達となった。次年度以降は広報活動の更なる強化、会員優待の拡充とあわせて、訴求力ある事業企画を実施することで、友の会会員数増加につなげたい。

3. 市民ホール等の基幹事業に関する業務

(1) 鑑賞事業

4月1日にリニューアルした中ホール（アクア文化ホール）で実施した「リニューアル記念 日本センチュリー交響楽団メンバー×ピアノデュオ デュオール」からスタートした本年度の鑑賞事業の取り組みでは、クラシック、ポップス、現代音楽、伝統芸能・演芸、ジャズ、パントマイム等さまざまなジャンルの公演を実施した。

クラシックでは、文化芸術センター所蔵のチェンバロを使用した「中野振一郎チェンバロリサイタル」をはじめ、固定ファンの獲得がみられる「にほんのうた」シリーズ、国内、国外有数の合唱団による公演等を開催した。

パートナーオーケストラである日本センチュリー交響楽団を起用した事業では、「豊中名曲シリーズ Vol.22～25」が、シリーズ年間平均来場者数 1,019 名となり、過去最多の来場者数を記録した。前年度に引き続き、「多角的なアートメディアを用いたクラシック音楽の楽しみ方の提案」をテーマに、公演制作や広報活動の取り組みをさらに強化した。特徴的なデザインの公演チラシ、各シリーズ公演のタイトルにあわせて若手劇作家が書き下ろした小説、ホワイエ内パフォーマンス等の多角的な制作アプローチは、来場者アンケート、SNS、公演アーカイブでも話題性を集める成果につながった。同時に著名なソリストによる PR 効果も重なったことで、シリーズを通して高い集客実績と公演成果を得ることができた。

また、本シリーズでは、指揮者や音楽評論家などゲストを迎えた関連企画（トークイベント）を事前開催しており、YouTube チャンネルでのダイジェスト配信を通じて、クラシックファンだけではなく、幅広い観客層に対する PR と本シリーズの理解向上を図る取り組みに努めている。くわえて、楽団との密接な関係性を活かした独自の公演企画「センチュリーチェンバーシリーズ」では、平均参加率 75%と高い集客成果を得ることができた。

伝統芸能・演芸公演では、「春風亭一之輔独演会」「桂米朝一門会」、伝統芸能館の恒例催

事「豊中芸人倶楽部寄席」等の落語公演のほか、伝統芸能館オリジナル企画として、人気の怪談和尚で知られる三木大運氏と大阪大学橋爪節也教授による「怪談×会談」を実施した。とりわけ「怪談×会談」は多数の申し込み希望で抽選となる等、大きな反響を得た。

普段聴く機会が少ない楽器をテーマにした公演では「山村誠一のさえずりサウダーヂ」でのスティールパンを取り上げた。また、全国でも人気の高い「いいむろなおきマイムカンパニー 走れ！走れ！！走れ！！」の公演では、アンケートでの参加満足度が100%を記録し、高い公演評価を得る成果につながった。同カンパニーは普及育成事業「こどもアートの日」でもワークショップ企画で起用することで、個々の事業が単発で終わることがなく、多様なアートジャンルの事業が複合的に展開し、相乗的效果につながるように努めた。

アーティストとともに新しいアートの価値や表現を追求する「TRANCE」シリーズでは、1月にATMOSPHEREと題し、声と影絵による公演を実施。2月はピアノとエレクトロニクスによる現代音楽をメインとした公演を実施し、市民に新しいパフォーミングアーツとの出会いや優れた公演鑑賞の機会提供に努めた。ATMOSPHEREでは、豊中のマチカネワニから着想を得てつくられた物語による新作品を上演し、ライブパフォーマンスの醍醐味を体験できる公演鑑賞機会を提供した。

本年度から取り組みを開始したローズ文化ホール鑑賞事業では、市南部地域が抱える子育て世代の減少等地域課題に対応すべく、乳幼児を対象とした人形劇『ローズちびっこげきじょう』を開催し、高い参加満足度を獲得することができた。次年度以降もシリーズ継続開催することで、基本計画の重点プロジェクトとの整合や地域活性化への貢献につなげたい。

(2) 普及育成事業（人材育成・ボランティア育成・伝統芸能館事業等）

市民ホール等の基幹事業の一つである「とよなかARTSワゴン 2022 シーズン」は、（一財）地域創造及び芸術文化振興基金助成を活用し、重点的に取り組んだ。また、年間を通じて、鑑賞、普及・育成型のプログラムを相互に連携させる複合的な事業展開に努めた。

アーティスト育成部門では、レジデントアーティスト第3期生として新たにフルート奏者とクラリネット奏者を選抜により選出した。アートマネジメント講座やアウトリーチプログラム制作合宿等の従来プログラムに加えて、市内在住の児童を対象にした音楽制作ワークショップやアートコーディネーター育成プログラムへの参加を通じて、アーティスト自らが学び、成長を支援する機会を提供することができたと考える。

コーディネーター育成部門では、市内南部地域を実際に歩き地域課題に取り組む人々へのインタビューを行うリサーチプログラムの実施のほか、助成事業のしくみを学ぶファンドレイジングワークショップ、企画制作ワークショップ等を実施した。なお、次年度はワークショップで提案された企画の制作を予定している。

アートマネジメント講座は「アートってなんだろう？地域とアートをめぐる」と「いまこそアウトリーチ」の二つのテーマを設定し、全6回シリーズで実施した。市民、アーティストの参加のほか、他自治体の文化施設職員の参加が見られるなど、幅広い属性の参加者を得るとともに、本事業への関心の高さを確認することができた。

続く、市民アートコーディネーター育成プログラム（1年目）には、アートマネジメント

講座受講者から8名が継続参加した。市民ホール等の取り組みから、改めてアウトリーチの意義や市における取り組みなどを学ぶ機会を提供した。

本事業の重点プログラムであるアウトリーチ活動では、市内小学校を訪問する「ふれアート」のほか、市内中学校でのミニコンサート、「いきてゆくフェスティバル」への参加など、例年以上に実施機会が拡大した。とりわけ「ふれアート」での新規校6校を含む全10校97回実施の実績は、令和元年度から実施しているアウトリーチ活動について、市内教育機関における認知と理解度が高まったことにより得た高い事業成果であると考ええる。また、アウトリーチ実施後の担当教諭向けのアンケート結果からも本事業は定性的に高い評価に得ていることが確認できる。加えて、登録アーティストが他府県で実施したアウトリーチ活動でも有識者により高い評価を受けるなど、本事業を通じて若手アーティストの活動の幅を広げ、成長につながる機会を創出できていると考える。

本事業における鑑賞型プログラムでは、「とよなか ARTS ワゴンフェスティバル 2022」のほか、本年度修了の2名のアーティストのリサイタルを実施し、高い公演成果を得ることができた。また、本年度から開始した大阪音楽大学とアーティストの協働プログラム「大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻×とよなか ARTS ワゴン LAST WORKS」の取り組みも特筆したい。アーティストの選定から企画立案、公演制作、当日進行まで学生が主体的に取り組むとともに、市民ホール等職員がその活動をサポートすることで、より実践的なアートマネジメントの機会と専門人材の育成機会の提供につながった。

参画型プログラムでは、一般社団法人タチョナとの協働による「ごちゃまぜカーニバル in とよなか」を夏休み期間に取り組んだ。本事業はアーティストと子どもたちのコミュニケーションを通じて、アートを媒介としたコミュニティの形成を目指す事業として位置づけている。子どもたちの主体性を尊重しながら、創造性の高い公演づくりを意図したワークショップでは、極めてユニークな公演成果を得るとともに地域との協働関係が構築されるなど、次年度以降の地域拠点形成にもつながる事業成果を得ることができたと考える。

普及育成型事業の取り組みでは、公演や展覧会に向けたプレ講座、ワークショップ等の関連アクティビティを実施することで、アートとの多様な接点を創出し、本公演や本展へとつなげる事業展開を図った。また、文化芸術センター全館を利用した「こどもアートの日 2023 MOVING!」では、のべ1,600人が来場し、オーケストラ公演やパントマイムワークショップ等の体験を通じて、多世代の市民が交流する機会を提供できた。その他、市内福祉施設で出張型ワークショップを展開する社会包摂型事業「お茶の間オーケストラ」にも取り組んだ。

他、ボランティア育成の取り組みでは、前年度に引き続き、市民による主催事業の公演レセプション活動新型コロナウイルスの状況に応じて適時実施した。

伝統芸能館事業の取り組みでは、本年度新たに「伝統芸能にふれようワークショップ（歌舞伎舞踊、狂言、和妻、太神楽）」や、「怪談×会談（トークショー）」に取り組んだ。また、館の恒例催事である「豊中芸人倶楽部寄席」は、本年度、春と秋の2回開催した。前年度中止となった「邦楽鑑賞会」「伝統芸能館まつり」は本年度開催に至り、いずれも多く参加者を迎えるなど、十分な公演成果を得ることができた。

鑑賞事業及び普及育成事業の概要は次頁からの表の通り。

【鑑賞事業実施一覧】

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
1	クラシック	中ホール	アクア文化ホールリニューアルオープン室内 楽コンサート「日本センチュリー交響楽団メ ンバー×ピアノデュオ・ドウオール」	4/2	主催	一般 ¥1,800 clubCaT ¥1,000 U25 ¥900	446	308	69.1%
2	クラシック	小ホール	中野振一郎チェンバロリサイタル	5/13	主催	一般 ¥2,500 clubCaT ¥2,000 U25 ¥1,500	202	157	77.7%
3	クラシック	大ホール	パナムジカ35周年記念 東京混声合唱団特別演奏会	5/15	共催	S席 ¥4,500 A席 ¥3,500 学生 ¥2,000	1,344	634	47.2%
4	クラシック	小ホール	にほんのうた Vol.10 高嶋優羽 ～歌は世につれ、世は歌につれ～	5/16	主催	一般 ¥2,500 clubCaT ¥2,000 U25 ¥1,500	404	213	52.7%
5	クラシック	中ホール	とよなかARTSワゴン 2022シーズン とよなかARTSワゴンフェスティバル 2022 Colors	6/4	主催	通し券 ¥1,000 単券 ¥500	442	304	68.8%
6	クラシック	小ホール	センチュリーリサイタルシリーズ Vol.14 北口大輔チェロリサイタル	6/7	主催	一般 ¥2,500 clubCaT ¥2,000 U25 ¥1,500	202	179	88.6%
7	クラシック	大ホール	センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.22 忘れられた怒り	6/11	共催	S席 ¥4,500 A席 ¥3,500 B席 ¥2,500 他	1,344	1,160	86.3%
8	クラシック	大ホール	【公演中止】 ニューヨークフィル プラスクインテット	7/12	共催	—	—	—	—
9	クラシック	中ホール	辻彩奈&阪田知樹 デュオ・リサイタル	7/17	主催	一般 ¥3,500 club CaT ¥3,000 U25 ¥2,500	446	218	48.9%
10	クラシック	大ホール	2022ズーラシアンプラス サマー・ミュージック・フェスティバル 大阪公演	8/13	共催	S席 ¥4,500 A席 ¥4,000 B席 ¥3,500 他	1,344	1,226	91.2%
11	クラシック	小ホール	センチュリーリサイタルシリーズ Vol.15 安井悠陽ファゴットリサイタル	9/7	主催	一般 ¥2,500 clubCaT ¥2,000 U25 ¥1,500	202	114	56.4%
12	クラシック	大ホール	ラトヴィア放送合唱団	10/23	主催	S席 ¥5,000 A席 ¥4,000 他	1,344	475	35.3%
13	クラシック	大ホール	センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.23 夜、でしゃばる悲哀	10/29	共催	S席 ¥4,500 A席 ¥3,500 B席 ¥2,500 他	1,344	744	55.4%
14	クラシック	小ホール	にほんのうた Vol.11 竹内直紀 歌い継ぎたいあの名曲！この迷曲！?	11/17	主催	一般 ¥2,500 clubCaT ¥2,000 U25 ¥1,500	404	262	64.9%
15	クラシック	小ホール	とよなかARTSワゴンショーケース #8 大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション 専攻×とよなかARTSワゴン LAST WORKS	12/8	主催	一般 ¥1,500 U25 ¥1,000 他	202	53	26.2%
16	クラシック	大ホール	東京混声合唱団 大阪定期演奏会 No.27	12/10	共催	S席 ¥4,000 A席 ¥3,000 他	1,344	299	22.2%
17	クラシック	大ホール	センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.24 修復する“歓喜”	12/11	共催	S席 ¥4,500 A席 ¥3,500 B席 ¥2,500 他	1,344	961	71.5%
18	クラシック	小ホール	センチュリーチェンバロシリーズ ジャパン・センチュリー・ヴィオラ4 脱・マイナー宣言～ヴィオラ進化論～	1/19	主催	一般 ¥3,000 clubCaT ¥2,500 U25 ¥1,500	202	158	78.2%
19	クラシック	小ホール	TRANCE 2023 CHAOS	2/11	主催	一般 ¥3,000 clubCaT ¥2,500 U25 ¥1,500 他	180	43	23.9%
20	クラシック	小ホール	とよなかARTSワゴンショーケース #9 中嶋奏音ピアノリサイタル	2/17	主催	一般 ¥1,500 U25 ¥1,000 他	202	78	38.6%

令和4年度(2022年度)豊中市市民ホール等事業報告書

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
21	クラシック	小ホール	とよなかARTSワゴンショーケース #10 東川内梨沙ピアノリサイタル	2/24	主催	一般 ¥1,500 U25 ¥1,000 他	202	112	55.4%
22	クラシック	大ホール	センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.25 100年後の楽しみ	3/18	共催	S席 ¥4,500 A席 ¥3,500 B席 ¥2,500 他	1,344	1,210	90.0%
23	ポップス	大ホール	玉置浩二CONCERT TOUR 2021 故郷楽団 35th ANNIVERSARY ～星路(みち)～	9/10	共催	一般 ¥9,900	1,250	1,162	93.0%
24	ポップス	大ホール	矢井田瞳 with 日本センチュリー交響楽団 プレミアムコンサート	2/11	共催	無料招待	1,344	994	74.0%
25	ジャズ	中ホール	FM COCOLO 公開録音コンサート	7/22	共催	無料招待	446	309	69.3%
26	ジャズ	小ホール	山村誠一のさえずりサウダーヂ ～ウキウキワクワクワ旅行的音楽会～	9/9	主催	一般 ¥3,500 club CaT ¥3,000 U25 ¥2,500	202	89	44.1%
27	ジャズ	ローズ文化 ホール	ブラック・ボトム・プラス・バンド しょうないフェス'22 ニューオリンズがやってくる	12/3	主催	一般 ¥1,500 club CaT ¥1,300 3歳～小学生 ¥500	336	299	89.0%
28	舞台	ローズ文化 ホール	ローズちびっこ劇場 Vol.1 人形劇屋たくたく 堂「おおきくなあれ！」	5/20	主催	おやこペア ¥1,000 おとな ¥800 こども ¥500	120	76	63.3%
29	舞台	大ホール	しまじろう英語コンサート 2022年夏公演 FUN AT THE SUMMER FESTIVAL!	8/20	共催	一般 ¥3,580 会員 ¥3,380	4,032	1,827	45.3%
30	舞台	ローズ文化 ホール	いいむろなおきカンパニー 「走れ！走れ！！走れ！！！」	11/5	主催	一般 ¥2,000 club CaT ¥1,500 U25 ¥1,000 こども ¥500	336	274	81.5%
31	舞台	展示室	TRANCE 2023 ATMOSPHERE	1/21 1/22	主催	一般 ¥3,000 clubCaT ¥2,500 U25 ¥1,500 他	100	51	51.0%
32	舞台	大ホール	MBSアナウンサー コトノハ物語の世界 2023	3/5	共催	大人 ¥1,900 子ども ¥500	2,688	2,318	86.2%
33	舞踊	中ホール	【公演中止】針山愛美プロデュース公演	2/4	主催	—	—	—	—
34	伝統芸能	大ホール	春風亭一之輔 独演会	5/6	主催	¥3,500	1,344	504	37.5%
35	伝統芸能	中ホール	桂米朝一門会	8/19	主催	一般 ¥3,000 U25 ¥1,500	446	280	62.8%
36	映画	小ホール	とよキネマ Vol.40 「男はつらいよ」	4/15	主催	一般 ¥1,000 club CaT ¥900 ペア ¥1,800 ペア club CaT ¥1,600	1,338	121	9.0%
37	映画	中ホール	とよキネマ Vol.41 「12人の優しい日本人」	5/19	主催	一般 ¥1,000 club CaT ¥900 ペア ¥1,800 ペア club CaT ¥1,600	1,338	180	13.5%
38	映画	中ホール	とよキネマ Vol.42 「エセルとアーネスト」	6/24	主催	一般 ¥1,000 club CaT ¥900 ペア ¥1,800 ペア club CaT ¥1,600	1,338	147	11.0%
39	映画	中ホール	とよキネマ Vol.43 「心を癒すということ」	7/15	主催	一般 ¥1,000 club CaT ¥900 ペア ¥1,800 ペア club CaT ¥1,600	1,338	228	17.0%
40	映画	中ホール	とよキネマ Vol.44 「“樹木希林”を生きる」	9/16	主催	一般 ¥1,000 club CaT ¥900 ペア ¥1,800 ペア club CaT ¥1,600	1,338	526	39.3%

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
41	映画	中ホール	とよキネマ Vol.45 「巴里のアメリカ人」	10/21	主催	一般 ¥1,000 club CaT ¥900 ペア ¥1,800 ペア club CaT ¥1,600	1,338	213	15.9%
42	映画	中ホール	とよキネマ Vol.46 「海辺の彼女たち」	11/18	主催	一般 ¥1,000 club CaT ¥900 ペア ¥1,800 ペア club CaT ¥1,600	1,338	172	12.9%
43	映画	中ホール	とよキネマ Vol.47 「素晴らしき哉、人生」	12/16	主催	一般 ¥1,000 club CaT ¥900 ペア ¥1,800 ペア club CaT ¥1,600	1,338	195	14.6%
44	映画	中ホール	とよキネマ Vol.48 「砂の器」	1/13	主催	一般 ¥1,000 club CaT ¥900 ペア ¥1,800 ペア club CaT ¥1,600	1,338	316	23.6%
45	映画	中ホール	とよキネマ Vol.49 「コーダ あいのうた」	3/17	主催	一般 ¥1,000 club CaT ¥900 ペア ¥1,800 ペア club CaT ¥1,600	1,338	277	20.7%

【普及育成事業実施一覧】

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
46	普及育成	多目的室	豊中ゆかりのクリエイター展 関連企画 TOYONAKA CREATORS STATION 2023 クロストーク	4/24	主催	無料	—	30	—
47	普及育成	多目的室	センチュリー豊中名曲Vol.22関連企画 現田茂夫×藤井颯太郎	5/8	主催	入場料 ¥500	100	21	21.0%
48	普及育成	小ホール	ここから始まるクラシック!! チェンバロのひみつ編	5/12	主催	一般 ¥1,000 他	202	97	48.0%
49	普及育成	諸室	とよなかARTSワゴン 2022シーズン アートマネジメント講座 (全7回) 「アートって何だろう? 地域とアートをめぐる」 「今こそアウトリーチ!」	6/18 6/19 6/25 7/2 7/16 7/23 7/24	主催	一般 ¥3,500 学生 ¥2,800	—	22	—
50	普及育成	多目的室	豊中特別展2023 「豊中と四人の画家」 シンポジウム	6/25	共催	無料	—	68	—
51	普及育成	ローズ文化 ホール	とよなかARTSワゴンショーケース #7 ごちゃまぜカーニバル in とよなか	8/15	主催	無料	150	135	90.0%
52	普及育成	ホワイエ	センチュリー豊中名曲Vol.23関連企画 わたしのレコメンド	9/16	主催	入場料 ¥500	60	21	35.0%
53	普及育成	多目的室	とよなかアーツプロジェクト 2022 メディアアート企画 「光さす間に」 トークイベント	9/27 10/8	主催	—	—	10	—
54	普及育成	諸室	とよなかARTSワゴン 2022シーズン 市民アートコーディネータ育成プログラム	10/1 10/8 11/20 12/17	主催	無料	—	8	—
55	普及育成	諸室	とよなかアーツプロジェクト 2022 メディアアート企画 「光さす間に」 関連ワークショップ	10/1 10/2 10/8 10/16	主催	参加費 ¥2,000 参加費 ¥500	—	67	—
56	普及育成	小ホール	大阪音楽大学共催公演 極～知っているのに知らないリコーダーの魅力～	10/19	共催	一般 ¥1,500 U25 ¥1,000 他	202	162	80.2%
57	普及育成	中ホール	センチュリー豊中名曲Vol.24関連企画 大友直人のアナリゼ～第九を紐解く	11/16	主催	入場料 ¥500	—	44	—

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
58	普及育成	多目的室	大阪大学総合学術博物館第14回特別展 北大阪のミュージアムで万博を考える なんやこりゃEXP0' 70-	12/2 12/9	共催	無料	—	67	—
59	普及育成	多目的室	とよなかアーツプロジェクト 2022 リサーチ企画 新作上映会 関連企画 フィルムペイントワークショップ	12/18	主催	無料	10	9	90.0%
60	普及育成	多目的室	センチュリー豊中名曲Vol.25関連企画 100年後の今、ミレニアル世代の2人が語る	1/31	主催	入場料 ¥500	100	25	—
61	普及育成	中ホール	針山愛美ダンスプロジェクト Vol.6	2/4	主催	一般 ¥1,000 他	442	128	29.0%
62	普及育成	中ホール	ここから始まるクラシック!! シン・ピアノ・カイトショー	2/8	主催	一般 ¥1,000 club CaT ¥500	446	140	31.4%
63	普及育成	多目的室	豊中から世界へ 新宮晋 すべてがここから始まった 連続トーク「新宮さんと語り合おう」	2/18 2/25	主催	無料	300	243	81.0%
64	普及育成	その他	とよなかアーツプロジェクト 2022 市民アートコーディネーター育成プログラム ①リサーチプログラム ②ファンドレイジングワークショップ ③企画制作ワークショップ	通年	主催	無料	—	5	—
65	普及育成	その他	とよなかARTSワゴン 2022シーズン アウトリーチ事業「ふれアート」 市内小学校 10校/計 97回	通年	主催	—	—	2,892	—
66	普及育成	その他	社会包摂型事業 お茶の間オーケストラ 会場：豊中あいわ苑 他	通年	主催	—	—	144	—
67	伝統芸能	伝統芸能館	豊中芸人倶楽部寄席 第77回	5/28	主催	無料	60	62	103.3%
68	伝統芸能	伝統芸能館	平和月間事業「ひろしま」	8/6	主催	無料	60	24	40.0%
69	伝統芸能	伝統芸能館	日本の伝統芸能にふれようワークショップ① 「歌舞伎舞踊」	8/9 8/19	主催	無料	30	8	26.7%
70	伝統芸能	伝統芸能館	邦楽KIDSプロジェクト 2022 夏休み こども邦楽器連続ワークショップ	7/31～ 8/20	主催	参加費 ¥500 ※1回あたり	10	9	90.0%
71	伝統芸能	伝統芸能館	邦楽KIDSプロジェクト 2022 片岡リサと邦楽KIDSがおくる 夏はお箏サウンド！コンサート	8/21	主催	無料	60	52	86.7%
72	伝統芸能	伝統芸能館	伝芸 怪談×会談	9/18	主催	無料	80	80	100.0%
73	伝統芸能	伝統芸能館	日本の伝統芸能にふれようワークショップ② 「狂言」	10/8 10/15	主催	無料	40	16	40.0%
74	伝統芸能	伝統芸能館	豊中芸人倶楽部寄席 第78回	10/22	主催	無料	60	70	116.7%
75	伝統芸能	伝統芸能館	詩吟の祭典in豊中	11/6	共催	無料	60	65	108.3%
76	伝統芸能	伝統芸能館	日本の伝統芸能にふれようワークショップ③ 「和妻」	11/20	主催	材料費 ¥300	20	10	50.0%
77	伝統芸能	伝統芸能館	邦楽鑑賞会	12/4	主催	無料	60	66	110.0%

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
78	伝統芸能	伝統芸能館	日本の伝統芸能にふれようワークショップ④ 「太神楽」	12/10 12/18	主催	材料費 ¥500	16	8	50.0%
79	伝統芸能	伝統芸能館	伝統芸能館まつり	2/5	主催	無料	60	194	323.3%

【ロビーコンサート一覧】

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
80	ロビーコン サート	多目的室	大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻学生企画 みんなのクラリネットコンサート	11/9	主催	—	40	52	130.0%
81	ロビーコン サート	多目的室	大阪音楽大学ミュージックコミュニケーション専攻学生企画 サクソフォーン・カルテット	12/22	主催	—	160	91	56.9%

【展示事業、その他事業一覧】

事業 番号	カテゴリー	会場	実施事業名	実施日	形態	入場料	集客		目標達成率 (/目標数)
							設定	実績	
82	展示	展示室	豊中ゆかりのクリエイター展 TOYONAKA CREATORS STATION 2023	4/22～ 5/8	主催	無料	—	949	—
83	展示	展示室	豊中特別展2022「豊中と四人の画家」	6/22～ 7/18	共催	無料	—	1,192	—
84	展示	展示室	とよなかアーツプロジェクト 2022 メディアアート企画「光さす間に」	9/24～ 10/16	主催	一般 ¥800 展示室のみ ¥500	—	966	—
85	展示	小ホール	とよなかアーツプロジェクト 2022 リサーチ企画 新作上映会 豊中とー沖縄ー 地下と土地の歴史、そこに 住まう人々の営み・痕跡	1/27	主催	無料	202	160	79.2%
86	展示	展示室	豊中から世界へ 新宮晋 すべてのここから始まった	2/18～ 3/12	主催	無料	—	2,244	—
87	その他	中ホール	豊中から世界へ 新宮晋 すべてのここから始まった オープニング・プレイベント	2/17	主催	無料	—	102	—
88	その他	全館	こどもアートの日 2023 MOVING!!	3/4	主催	おとな ¥1,800 club CaT ¥1,500 こども ¥500 他	1,994	1,601	80.3%

(3) 情報提供事業

①地域文化芸術情報の受発信

地域文化芸術情報の受発信の取組みとして、館内チラシ Rack を利用し、貸館催事や主催事業だけでなく、他館の文化情報や催事情報を積極的に配架することで、広域における文化芸術情報発信機能の拡大に努めた。

②デジタルツールを利用した情報発信

Facebook、Twitter、Instagram の各 SNS を利用した情報発信にあわせて、YouTube チャンネルでは、公演プロモーション動画の発信に加え、豊中名曲シリーズ関連企画のダイジェスト映像、レジデントアーティストの演奏及びインタビュー動画、展覧会のアーカイブの発信を積極的に行った。

③ホール情報紙やホームページを通じた施設情報の提供 等

市民ホール等情報紙「aperitif」の発行を継続した。また、年間公演パンフレットを作成し、友の会会員に向けて次年度事業の紹介を行った。また、「とよなか ARTS ワゴン」「邦楽 KIDS プロジェクト」「メディアアート企画 MATHRAX 展」の各事業実施にかかる成果報告書作成し、関係各所に配布を行った。

公式ホームページでは新たに公演アーカイブの掲載を開始した。また、展示室・多目的室に続き、文化芸術センター各ホールでバーチャルツアー（360 度 3D 映像）を製作公開し、ホームページから施設機能を観覧できる機能を提供した。

その他の情報発信として、積極的なマスメディアへの情報提供による新聞や雑誌などでのパブリシティ、市内公共施設へのチラシ、ニュースリリースの発行、一般紙及び地域紙への広告出稿など、多様なメディアを活用した施設情報や公演情報の発信に努めた。

また、本年度からスタートした「とよなか ARTS ワゴン アーティストバンク」では、近隣関係施設に資料提供などを通じて積極的な情報発信に努めた。

(4) 相談事業

①施設利用に関する相談・アドバイス業務、ホール利用見学会の拡充、特化型相談会の実施

ホール利用者や利用希望者を対象とした相談・見学会は例年通り実施した。本年度は新型コロナウイルスの影響による中止は無く、文化芸術センターでは相談・見学会のほかに、個別見学も含めて、60 組 97 名の参加があり、2018 年度の過去最高水準に近い実績となった。

(2018 年度実績 64 組 107 名)

[相談・見学会参加者数]

見学相談会	4月		5月		6月		7月		8月		9月	
	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数
文化芸術センター	2	4	5	8	7	12	4	8	10	15	3	5

見学相談会	10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数	組	人数
文化芸術センター	5	7	4	7	3	5	7	10	7	8	3	8	60	97

②自治体や他施設、業界団体等の視察・見学への対応 等

全国公文協総会・研究大会に3年ぶりに参加した。本年度は山形県総合文化芸術館（やまぎん県民ホール）で実施され、他施設の施設担当者や事業担当者との情報交換を行った。3月には新規開業の高槻城公園芸術文化劇場を視察、府公文協会議やオープニングセレモニーに参加した。自治体や他施設の視察・見学等受入では、文化芸術センターで4月に高知県四万十市文化複合施設の市担当職員、7月に香川県丸亀市新市民会館の市担当職員、1月に東京都北区北とぴあ担当職員、3月に福岡市拠点文化施設の市担当職員のそれぞれ受け入れを行った。職員の参加研修・講習等はP.24～P.25[教育訓練、研修セミナー等実施]参照

（５）友の会事業

①市民ホール等友の会（club CaT）の組織運営、チケット優待サービスや会員向け情報発信

豊中市市民ホール等友の会「club CaT（クラブキャット）」の当年度会員入会数は798名（令和5年3月末）となった。魅力的な公演プログラムの提供やセンチュリー豊中名曲シリーズをはじめとする主催公演の優待制度、招待公演などを実施し、会員メリットの拡充等の取り組みに努めたが、要求水準1,000名には至らなかった。次年度以降はより訴求力ある公演の誘致、会員優待制度の拡充を図ることで要求水準の達成に努める。

年度会員数	798名（令和5年3月末時点）
会員特典等	●主催公演チケットにおける会員先行発売期間の設定 ●主催公演チケットにおける会員価格の設定 ●ホール自主公演情報誌「aperitif」の送付 ●近隣店舗の協力による優待サービスの提供

（６）広報・宣伝事業

①施設ホームページの運営

施設ホームページを運営し、施設、事業、各種募集、貸館催事等の情報発信を通年で行った。（随時更新/目標580,000PV/年）

豊中市市民ホール等4施設のホームページアクセス状況は以下の通り。

主な評価項目	内容及び数値（豊中市市民ホール等4施設）
対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
ユーザー数	242,889ユーザー（前年180,507ユーザー） ※当該WEBサイトに訪れた人の数
セッション数	388,696回（前年312,156回） ※ユーザーがWEBサイトに訪問した数
ページビュー数	1,024,309PV（前年892,236PV） ※ユーザーがサイト内のページを閲覧した数

いずれの項目も前年実績を上回る結果となり、ページビュー数の目標についても大きく

上回る結果となった。多数の主催事業、全国的に人気のある公演の誘致、展覧会事業をはじめとした魅力あるコンテンツの提供や各 SNS の他、各種広報媒体からの誘導施策等の新たな取り組みが奏功した結果であると考えます。引き続きホームページの利便性向上に努める。

②情報誌、催事情報カレンダーの作成・発行

市民ホール等情報紙「aperitif」の発行を継続した。自主事業の開催情報、アーティストインタビュー、公演アーカイブに加えて、本年度から「センチュリー豊中名曲シリーズ」に関連する市内撮影の写真を掲載するなど、多角的なアートメディアにより公演を楽しむことができる取り組みに努めた。その他にも、施設機能の紹介や主催事業の幅広い情報を掲載することで、多くの市民が楽しめる紙面構成に努めた。また、夏休み前には小学生向けのイベント情報を特集する媒体を制作し、市内学校に配布を行った。

〔情報誌、催事情報カレンダーの発行部数〕

発行物	発行日	発行部数
aperitif vol.35	令和4年5月25日	5,000部
夏休みから始まるアート特集	令和4年7月1日	27,000部
aperitif vol.36	令和4年7月25日	5,000部
aperitif vol.37	令和4年9月25日	5,000部
aperitif vol.38	令和4年11月25日	5,000部
aperitif vol.39	令和5年1月25日	5,000部
令和5年度公演ラインナップ	令和5年1月25日	4,300部
aperitif vol.40	令和5年3月25日	5,000部

③施設パンフレット、利用案内リーフレットの作成

施設パンフレットを整備し、適宜配布を行っている。利用案内リーフレットは、使いやすさを重視して更新を行った。また、展示室・多目的室の利用促進のため、各室の施設機能の紹介に特化した利用案内を別途作成し、配布、活用を図っている。

④チラシ・ポスター等の作成

自主事業公演ごとにチラシやポスター作成のほか、自主事業公演ラインナップ、club CaT（友の会）会員入会促進チラシ、会員優待店舗を掲載したリーフレット等の作成を行った。

⑤Facebook、Twitter、YouTube など SNS による広報・宣伝活動

市民ホール等各施設のオフィシャルWEBページの更新ほか、文化芸術センターFacebook（フェイスブック）やTwitter（ツイッター）、Instagram（インスタグラム）などSNSを活用し、施設や事業の広報・宣伝活動をより積極的に展開した。なお、有料WEB広告は、Facebookに加えてTwitterでも実施し、市内周辺に居住するオンラインユーザーへの訴求とあわせて、市外ユーザーにもリーチすることで広報効果の向上を図った。また、YouTube

ではセンチュリー豊中名曲シリーズ関連企画のダイジェスト配信と予告編動画に加えて、出演者インタビュー、レジデントアーティストのパフォーマンス動画、展覧会のアーカイブ動画など、自宅でも楽しめるコンテンツの制作と配信に取り組んだ。

SNS ツール	広報・宣伝活動の概要
Twitter	ツイート数：1,849 ツイート 掲載内容：主催公演情報、チケット販売情報、イベントリポート 等 フォロワー数：1,871
Facebook	投稿数：343 件 掲載内容：主催公演情報、チケット販売情報、イベントリポート 等 いいね！数：1,383 フォロワー数：1,725 人 チェックイン数：12,569 人（総数） レビュー数：46
Instagram	投稿数：119 件 掲載内容：主催公演情報、チケット販売情報、イベントリポート 等 いいね！数：2,023 フォロワー数：592 人

⑥公演アーカイブ、成果報告書、効果測定調査報告書の作成

前述のとおり、センチュリー豊中名曲シリーズはじめ、いくつかの公演で外部ライターに公演アーカイブ記事を依頼し、WEB サイトへの掲載を行った。また、「とよなか ARTS ワゴン」「とよなか邦楽 KIDS プロジェクト」「メディアアート企画 MATHRAX 展」については、事業実施にかかる成果報告書を作成し、関係各所への配布を行った。

また、「メディアアート企画 MATHRAX 展」については、京都芸術大学アートプロデュース学科に効果測定調査を依頼し、同大学カリキュラムの一環として効果測定調査報告書を作成した。

[公演アーカイブ及び成果報告書一覧]

事業名	概要	掲載媒体
センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.22～25	各公演アーカイブを豊中市在住の音楽ライターに依頼し掲載	WEB サイト
ラトヴィア放送合唱団	大阪音楽大学研究生で合唱文化研究者に依頼し掲載	
とよなかアーツプロジェクト MATHRAX 展「光さす間に」	大阪在住のアート編集者に依頼し掲載	

TRANSE 2023 ATMOSPHERE	大阪音楽大学研究生で合唱文化研究者に依頼し掲載	
とよなかアーツプロジェクトリサーチ企画 小田香新作上映会「GAMA」	ダンサー／アーティストとしてさまざまな舞台に出演しているアーティストに依頼し掲載	
とよなか ARTS ワゴンショーケース #9 中嶋奏音ピアノリサイタル	レジデントアーティスト第1期生の若井亜妃子に依頼し掲載	
とよなか ARTS ワゴンショーケース #10 東川内梨沙ピアノリサイタル	レジデントアーティスト第1期生の新崎洋実に依頼し掲載	
とよなか邦楽 KIDS プロジェクト	事業終了後、アンケートや講師へのヒアリング結果、事業全体のプロセスをまとめた報告書を発行 (発行日：令和4年11月30日)	冊子 B5 サイズ 8 ページ 50 部
とよなか ARTS ワゴン 2022 シーズン	全事業終了後、それぞれのプログラムの実施報告、アーティストレポート、総評をまとめた報告書を発行 (発行日：令和5年3月31日)	冊子 B5 サイズ 28 ページ 200 部
メディアアート企画 MATHRAX 展「光さす間に」報告書	展覧会終了後、事業報告書としてアーティスト、プログラムディレクター、担当学芸員による展覧会の振り返りを含む、展覧会全体の記録として発行 (発行日：令和5年3月31日)	冊子 B5 サイズ 20 ページ 200 部
メディアアート企画 MATHRAX 展「光さす間に」調査報告書	京都芸術大学アートプロデュース学科 リサーチ・プロジェクトチームによる同事業の来場者調査を依頼し、その報告書が発行された (発行日：令和5年2月20日)	冊子 A4 サイズ 160 ページ

⑦パブリシティによるメディア掲載、その他広告出稿

「豊中から世界へ 新宮晋展」をはじめ、豊中ゆかりのアーティスト公演を多く実施した本年度は、新聞・情報誌やWEBメディア等で記事や公演情報として取り上げられる機会が増加した。また、初めて試みとして、インフルエンサーに依頼し、展覧会事業の広報宣伝に取り組んだ。関西エリアのホール・劇場が連合で出稿する文化芸術情報誌「MEG WEST」

に継続的に催事広告を掲載するなど、重点的に文化芸術事業に取り組む公共劇場として、文化芸術センターを含む市民ホール等のアピールに努めた。なお、日本経済新聞文化面では、近畿圏の特徴的なオーケストラ公演として、「センチュリー豊中名曲シリーズ」が記事として大きく取り上げられた。

〔パブによるメディア掲載、その他広告出稿一覧〕

媒体名	発行日(号)	掲載内容
読売新聞チケプレ	令和4年4月12日	文化芸術センター自主事業案内
MEG WEST VOL.10	令和4年4月20日	文化芸術センター自主事業案内
毎日新聞大阪版	令和4年5月4日	文化芸術センター自主事業案内
MEG WEST VOL.11	令和4年6月20日	文化芸術センター自主事業案内
MEG WEST VOL.12	令和4年8月20日	文化芸術センター自主事業案内
まちっと北摂	令和4年9月11日	メディアアート展事業案内
PAPER C	令和4年9月22日	メディアアート展事業案内
SPICE (エンタメ特化型情報メディア)	令和4年10月2日	センチュリー豊中名曲シリーズ Vol.23
MEG WEST VOL.13	令和4年10月20日	文化芸術センター自主事業案内
PAPER C	令和4年11月15日	ワークショップ事業案内
MEG WEST VOL.14	令和4年12月20日	文化芸術センター自主事業案内
日本経済新聞	令和5年1月6日	センチュリー豊中名曲シリーズ記事
PAPER C	令和5年1月13日	文化芸術センター自主事業案内
PAPER C	令和5年1月20日	リサーチプログラム事業案内
読売新聞	令和5年1月31日	文化芸術センター自主事業案内
City Life News	令和5年1月29日	新宮晋展 展覧会案内
朝日ファミリー北摂版	令和5年2月1日	レジデントアーティスト紹介
PAPER C	令和5年2月14日	新宮晋展 展覧会案内
まちっと北摂	令和5年2月20日	新宮晋展 展覧会案内
MEG WEST VOL.15	令和5年2月20日	文化芸術センター自主事業案内
神戸新聞	令和5年2月24日	新宮晋展 展覧会記事
産経新聞大阪版	令和5年3月3日	新宮晋展 展覧会記事

4. 施設の運営に関する業務

(1) 貸館事業（施設の提供）

①施設利用状況表（開館日数、利用日数、利用件数、利用率、区分・時間稼働率、利用人数）

1) 各館ホールの利用状況

施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能区分	利用区分	区分稼働率	利用人数
1 大ホール	286	227	192	79.4%	855	595	69.6%	135,089
2 中ホール（アクア）	282	236	231	83.7%	840	557	66.3%	55,310
3 小ホール	300	293	344	97.7%	798	729	91.4%	39,379
4 ローズ文化ホール	286	216	200	75.5%	697	471	67.6%	35,090
合 計	1,154	972	967	平均利用率 84.2%	3,190	2,352	平均区分稼働率 73.7%	264,868

2) 文化芸術センター諸室の利用状況

施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能区分・時間	利用区分・時間	区分稼働率	利用人数
1 展示室	302	283	96	93.7%	906	809	89.3%	26,864
2 多目的室	308	281	243	91.2%	924	695	75.2%	38,597
3 練習室1	308	307	660	99.7%	4,004	2,752	68.7%	3,978
4 練習室2	308	302	558	98.1%	4,004	2,768	69.1%	6,641
5 練習室3	308	305	663	99.0%	4,004	2,637	65.9%	2,781
6 ミーティングルーム1	308	289	389	93.8%	4,004	2,314	57.8%	4,044
7 ミーティングルーム2	308	283	399	91.9%	4,004	2,037	50.9%	2,893
8 ミーティングルーム3	308	270	300	87.7%	4,004	2,123	53.0%	2,345
9 スタジオ	308	308	944	100.0%	4,004	2,442	61.0%	1,667
10 和室	308	258	326	83.8%	4,004	1,590	39.7%	1,903
合 計	3,074	2,886	4,578	平均利用率 93.9%	33,862	20,167	平均区分稼働率 59.6%	91,713

3) アクア文化ホール諸室の利用状況

施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能時間	利用時間	区分稼働率	利用人数
1 音楽室	301	301	702	100.0%	3,913	2,553	65.2%	6,447
2 練習室	301	301	701	100.0%	3,913	2,382	60.9%	5,475
合 計	602	602	1,403	平均稼働率 100.0%	7,826	4,935	平均区分稼働率 63.1%	11,922

4) ローズ文化ホール諸室の利用状況

施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能時間	利用時間	時間稼働率	利用人数
1 会議室	307	141	148	45.9%	3,678	964	26.2%	35,090

※ローズ文化ホール会議室の利用人数について…ホール控室として使用された際の人数は計上せず。

5) 伝統芸能館の利用状況

施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能区分	利用区分	区分稼働率	利用人数
1 ホール	300	236	302	78.7%	900	430	47.8%	8,353

6) 市民ギャラリーの利用状況

施設名/項目	開館日数	利用日数	利用件数	利用率	利用可能区分	利用区分	区分稼働率	利用人数
1 ギャラリー	304	193	59	63.5%	556	354	63.7%	9,541

②施設来館者数集計表

施設名/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
文化芸術センター	貸館利用者数													
	大ホール	9,706	7,186	6,433	10,699	17,921	9,056	10,511	14,007	13,738	8,715	13,988	13,129	135,089
	中ホール	3,586	3,913	4,516	6,862	2,725	5,062	5,272	5,507	6,577	3,189	2,928	5,173	55,310
	小ホール	2,074	3,326	3,054	5,242	3,720	2,746	3,724	3,841	3,326	2,550	2,928	2,848	39,379
	展示室	1,395	1,671	1,820	1,464	3,578	2,191	933	5,026	3,680	914	1,900	2,292	26,864
	多目的室	1,552	1,002	2,616	1,828	2,314	2,711	10,903	5,138	2,255	3,118	2,796	2,364	38,597
	練習室1	380	273	301	353	438	374	311	324	282	278	332	332	3,978
	練習室2	596	526	493	586	554	629	530	650	526	497	462	592	6,641
	練習室3	212	226	183	178	232	246	308	261	271	173	268	223	2,781
	MTGルーム1	252	279	348	357	401	390	303	433	303	262	361	355	4,044
	MTGルーム2	167	181	208	185	230	196	372	377	209	165	303	300	2,893
	MTGルーム3	202	159	181	133	191	167	276	227	189	125	273	222	2,345
	スタジオ	141	124	135	162	151	130	140	127	138	140	127	152	1,667
	和室	96	152	106	156	134	128	349	115	176	134	175	182	1,903
	キッズルーム	98	106	86	129	183	139	124	125	106	74	114	143	1,427
	アクア音楽室	530	499	627	515	476	502	587	591	557	461	516	586	6,447
	アクア練習室	479	428	416	436	493	398	486	526	473	338	443	559	5,475
	使用承認申込者数	368	345	416	339	344	401	398	371	320	354	323	360	4,339
	チケット購入者数	232	168	291	130	143	219	173	181	146	108	205	126	2,122
	友の会入会者数	52	28	41	8	4	5	28	40	8	35	210	129	588
	カフェ利用者数	4,927	3,300	3,973	3,897	4,288	2,363	6,053	5,150	3,359	2,981	3,826	4,853	48,970
	小計	27,045	23,892	26,244	33,659	38,520	28,053	41,781	43,017	36,639	24,611	32,478	34,920	390,859
ローズ文化ホール	貸館													
	ホール	3,083	2,206	1,567	6,226	3,192	2,352	3,172	2,584	2,544	2,034	3,920	2,210	35,090
	会議室	62	140	61	123	185	174	120	176	98	122	151	153	1,565
	使用承認申込者数	25	19	31	17	24	26	29	12	13	4	15	11	226
	チケット購入者数	6	4	6	0	0	3	5	7	0	4	0	3	38
	小計	3,176	2,369	1,665	6,366	3,401	2,555	3,326	2,779	2,655	2,164	4,086	2,377	36,919
伝統芸能館	貸館													
	ホール	592	629	618	522	1,004	990	802	525	578	336	1,193	564	8,353
	使用承認申込者数	169	149	55	42	61	82	186	65	49	56	73	95	1,082
	小計	761	778	673	564	1,065	1,072	988	590	627	392	1,266	659	9,435
市民ギャラリー	貸館													
	ギャラリー	877	865	853	513	0	722	1,444	718	934	616	627	1,372	9,541
	使用承認申込者数	4	2	1	2	1	5	1	3	2	2	0	3	26
	小計	881	867	854	515	1	727	1,445	721	936	618	627	1,375	9,567
合計		31,863	27,906	29,436	41,104	42,987	32,407	47,540	47,107	40,857	27,785	38,457	39,331	446,780

③各施設の利用状況について

1) 文化芸術センター

新型コロナウイルス影響も徐々に緩和し、通年では大ホール利用率が79.4%、中ホール83.7%、小ホール97.7%と前年度に比べて一定水準まで回復することができた。本年度も小ホールの利用率は極めて高く、月間利用率100%の月が年間のうち7か月となった。

大規模改修工事が終了した中ホールは、4月1日に「お披露目会」を開催し、一般公開を行った。天井改修、座席の更新、トイレ・楽屋の改装、授乳室の新設等が主催者や利用者に高い評価を得るとともに、楽屋やホワイエ備品の追加整備、更新についても利用満足度の向上につながっている。なお、利用率に関しては、コロナ前の2018年度に比べて1.7ポイントほど低かったが、改修工事前の主催者や利用者が戻っている状況がみられる。

展示室・多目的室の利用率について、多目的室91.3%、展示室93.7%と過去最高の数値を記録した点を特筆したい。なお、展示室・多目的室を除く諸室の年間平均稼働率は57.3%と前年度(46.3%)に対し11.0ポイント増加する結果となった。

なお、各種料金の支払い方法として、前年度よりマルチペイメントシステムによるキャッシュレス決済サービスを提供しているが、本年度末には全支払いに対して約3割でキャッシュレス決済が利用された。また、本年度よりクラウド型予約システムでの一部利用料金のオンライン決済を導入するなど、利用者の利便性向上や事務効率の向上を図った。

2) ローズ文化ホール

ホールの利用率は75.5%と前年度(76.8%)から微減であったが、利用人数は28,837人と、対前年121.7%と増加。会議室は利用率も45.9%と9ポイント増加した。利用人数増加の要因としては、新型コロナウイルスの影響が減少し、ホール制限人数の緩和等によるものとする。なお、令和3年度から利用促進施策として取り組んでいる「学生団体割引制度」については、年間で18団体の利用があり、十分な施策効果につながっているとする。

施設維持管理の面では、平成元年の供用開始から経年劣化が進み、各所にて修繕を繰り返している状況である。令和5年11月より1年間の大規模改修工事が行われることで、近年の利用者ニーズを反映し、改修後には主催者及び利用者からさらに満足いただける施設機能を提供できると考える。

3) 伝統芸能館

多目的ホールの平均利用率は78.7%と前年度(79.5%)から微減であったが、利用者数は8,353人と前年度より1,909人増加した。伝統芸能ワークショップなど新たな主催事業の開催などにより、新規顧客層の獲得につながったと考えている。施設維持管理の面では、外構の格子戸の腐食、外壁塗装の水垢やカビ等が進み、今後、補修工事等が必要とする。また、舞台吊物装置、調光設備・照明器具等各設備についても老朽化が進んでおり、突発的なトラブル発生への備えや回避策が喫緊の課題と考えている。

4) 市民ギャラリー

市民ギャラリーの利用率は63.5%と前年度(67.4%)から微減であったが、利用人数は9,541人と対前年比107.9%増加した。新型コロナウイルスによる影響や参加者の高齢化等による団体の解散など、例年使用されていた主催者のうち12団体が使用されなかった。

新たな利用者の獲得に向けて、本年度は案内リーフレットを一新した。新年度は、市所蔵作品を活用した「オープンギャラリー」の開催等、新たな利用促進策の実施を計画しており、市民ギャラリーの知名度の向上と施設稼働の増加につなげたい。なお、前述通り、これまでの施設利用のルールを一部改訂することで、利用者満足度の向上とあわせて、利用者ニーズに即したサービスと施設環境の提供において成果を残すことができたと思う。

5. 施設及び設備の維持管理に関する業務

(1) 舞台の管理に関する業務

文化芸術センター、ローズ文化ホールともに、経験豊富な舞台技術担当者による日常保守点検を実施した。定期保守点検については、保守点検業者及び設備・機器メーカーと連携するとともに、メンテナンス担当者と綿密な相談のうえで滞りなく実施した。

小ホールに関しては常に高い稼働率で推移しているが、定期保守点検を休館日に実施するなど、規定の回数を満たしている。また、推奨交換時期に到達している機器に関しては、保守点検業者と相談し、定期点検時に交換作業を行うことでコスト縮減に努めた。

中ホールは、前年度の大規模改修工事にともない、照明のLED化や天井、床の材質が変わったことによる照明効果や音響効果への影響に懸念があったが、貸館主催者や利用者からは、高い評価と満足度を得ている。ローズ文化ホールについては、老朽化による不具合が多く発生しているが、軽微なものは舞台技術担当者が修繕を行うことで、施設及び設備の長寿命化を図っている。担当者で対応が難しい不具合や計画的修繕が必要と考えられる案件については不具合・修理案件として適宜報告を行った。

伝統芸能館については、専門の技術員が常駐しない特性上、運営職員に危険箇所を周知、指導した。また、職員向け舞台ワークショップを行い、利用者及び受付職員に舞台技術に関する助言を行った。

新型コロナウイルス対策について、常に最新の情報を得ながらホール利用者に安全に利用してもらえるよう、年間を通じて適切な舞台管理に努めた。

(2) 施設及び設備の維持管理に関する業務

豊中市市民ホール等指定管理者業務仕様書に定められた施設及び設備の維持管理に関する業務を行った。各業務の概要は以下の通りである。

①設備維持管理

文化芸術センターは、竣工より6年が経過し、各不具合案件が発生する中、優先順位を明確にし、適宜機器交換及び工事を実施した。また、経年劣化で不具合箇所も増加していくことから、修繕実施についてもできる限り安価かつ適切に修繕を行える業者選定に注力した。また、中ホール設備員の高齢化の課題については、期中に設備責任者交代を行うことで、設

備管理業務の安定化を図った。また、毎月実施の市モニタリングには文化芸術センター及び中ホールの設備管理責任者が毎回出席することで、市及び指定管理者内での適切な情報共有とあわせて、施設の一体的な維持管理を徹底している。今後は、さらなる施設長寿命化を意図した長期修繕計画の提案を行いたい。前年度より新たに加わった伝統芸能館及び市民ギャラリーについても、引き続き、文化芸術センター及び中ホール設備員にて保守点検時の立会いを欠かさず行い、適切な設備維持管理に努めている。

本年度は、電気及びガス料金の著しい高騰が続いたため、室内の空調管理及び点灯時間の調整など、年間を通じて省エネ対策、コスト縮減に取り組んだ。

ローズ文化ホールにおいては、庄内体育館指定管理者が一部の点検業務を実施していないことが判明したため、体育館指定管理者と協議の上、未実施の費用については豊中市へ戻入することになった。次年度以降も引き続き安心・安全に配慮した施設維持管理とあわせて、設備機器等の最適化運用を行うことで環境負荷の低減に努める。

②清掃業務

本年度は、新型コロナウイルスの影響が緩和されてきたことから、感染対策にも留意しながら美観維持に向けた臨時清掃を実施した。中ホールリニューアルより1年目ということもあり、ホール床材変更に対応した清掃を実施した。伝統芸能館及び市民ギャラリーの清掃業務についても、文化芸術センター同様に適切な感染対策及び美観維持に注力した。

③保安警備業務

新型コロナウイルスに伴う制限緩和により、清掃業務同様に大規模イベント時における臨時警備実施回数が増加した。前年度実施が少なかったこともあり、イレギュラー対応への調整等に苦慮したが、協力会社との密な連携による柔軟な対応に努めた。

緊急時や非常時における対応では、消防訓練をはじめ、さまざまなケースを想定した訓練やシミュレーションを繰り返すことで、引き続き有事に対する万全な保安体制の維持構築に努めた。スタッフの発案により期中に警察・消防OBを講師としたAED講習会を実施した。スタッフ全員が講習を受講できるよう講習日を3日間設定し、実際の緊急時を想定した実技研修を交えるなど、効果的な研修を実施できたと考えている。この種の実技講習は、日々の意識の積み重ねが重要と考えており、今後も定期的な開催を計画したい。

日常業務においても、前年度と比べ来客者も訪問者も増加傾向にあるなかで、職員間で常に最新情報の共有を行うことで、イレギュラー事象へも遅滞なく対応が出来る体制の構築に努めた。

(3) コミュニケーションロビー、ビュッフェの活用

コミュニケーションロビー内での飲食サービスの提供については、前年度に引き続き合同会社COTATSUへの運営委託とし、カフェ「ORION COFFEE」の営業を通じて利用者、来館者へのサービス提供を行った。

一部の期間において、新型コロナウイルスに起因する営業時間の短縮など若干の影響はあ

ったものの、カフェのファンが増えたことで、客数や売上は高水準で推移している。年間来客数（注文数）は52,310人と、2018年度比3倍超の利用者を獲得することができた。

また、コミュニケーションロビーの活用では、市事業「とよなか音楽月間」の一環として10月1日～11月30日の間にペインティングピアノを設置、10月29日にレジデントアーティストによる演奏会を開催した。また、市事業「豊中アートコネクション」イベントの会場として活用されるなど、コミュニケーションロビーの多様な施設利用につながった。あわせて、主催事業として、12月3日～11日の間、SMILE 絵本製作プロジェクトによる絵本原画展を開催した。本年度は諸条件が整わずマルシェ等の開催に至らなかったが、今後、開催手法の見直しを行うことで、定期的な開催につなげたい。

なお、大ホールホワイエ内ビュッフェについては、引き続き新型コロナウイルスの影響を考慮しサービス提供を見合わせた。次年度以降については再考することとしたい。

（4）託児サービス及びキッズルーム

キッズルールについては、本年度、時間制限を行いながら利用を再開した。結果、年間で前年度2倍以上の1,427人の利用につながっている。今後は新型コロナウイルスの5類移行を目途に、時間制限無しの利用を計画している。引き続きできる限り安全な施設環境を整えることで、地域子どもたちや子育て世代への支援、有効活用につながるよう努めたい。

6. 運営組織についての報告

（1）職員研修の取り組み、SDGsの推進等

本年度は新型コロナウイルスの影響が緩和され、全国で多くの研修・セミナーが開催されたため、職員が外部研修等に多数参加することができた。またZoom等のオンラインツールを活用した社内研修への参加、指定管理者独自で開催したバリアフリー研修やAED研修等の実施を通じて、職員スキルの向上や運営体制の強化に努めた。

また、近隣の大学生を対象としたインターンシップについては、8月に11名、2～3月に13名の受け入れを行った。

SDGs推進の取り組みでは、前年度の豊中SDGsパートナー登録を機に積極的な活動に努めた。公演チラシをはじめ各種広報物にSDGsパートナーロゴを掲載することにより、利用者への周知につなげた。ローズ文化ホールでは、箕面自由学園高校探究学習プログラムとして生徒によるインタビュー依頼があり、南部地域の抱える課題や企業及び施設でのSDGsの取り組み説明のなど、公民学連携につながる機会を得ることができた。また、市キャラクター『マチカネくん』イラストを活用した節水・ゴミ回収・ペットボトル回収等の館内POPの掲示のほか、オリジナル館の製作配布などの取り組みを通じて、環境啓発や市内経済の活性化を図った。なお、オリジナル館は兄妹都市沖縄市への表敬訪問時のお土産や庄内コラボセンター開業式典での配布物としても活用されるなど、市事業の取り組みにも貢献できた。

職員参加による研修・講習については次表の通り。

【教育訓練、研修セミナー等の実施】

区分	内 容	実施日	開催場所および参加者数
安全	1 消防訓練	令和4年5月24日	文芸センター 運営職員12名
	2 消防訓練	令和5年3月14日	
	3 消防訓練（市民ギャラリー）	令和4年11月29日	市民ギャラリー 運営職員全員
	4 消防訓練（ローズ文化ホール）	令和4年8月31日	ローズ文化ホール 運営職員全員 (8月AED操作2月担架運用と心肺蘇生)
	5 ※庄内体育館と合同実施	令和5年2月28日	
	6 消防訓練（伝統芸能館）	令和4年8月31日	伝統芸能館 運営職員4名
	7 ※石塚会館と合同実施	令和5年2月28日	
	8 AED研修会	令和5年2月28日	アクア音楽室 運営職員10名
	9 AED研修会	令和5年3月3日	文芸センター和室 運営職員9名
研修・講習等	10 『コンプライアンス』『個人情報』テストの実施	令和4年6月29日～7月12日	オンライン 運営職員全員
	11 JTBグループSDGs研修（eラーニング）	令和4年7月28日～8月30日	オンライン 運営職員全員
	12 サステナビリティ取扱い方針説明会	令和4年8月17日～9月16日	オンライン 運営職員全員
	13 『コンプライアンス』『個人情報』テスト実施	令和4年10月14日～31日	オンライン 運営職員全員
	14 コンプライアンス研修（ビデオ視聴）	令和4年10月28日～11月30日	オンライン 運営職員全員
	15 施設地味局対象サステナビリティ推進に向けた現状把握	令和4年11月7日～28日	オンライン 運営職員全員
	16 令和4年度「JTB GROUP CODE」Web試験	令和5年1月14日～24日	オンライン 運営職員全員
	17 職場内コミュニケーション活性化セミナー（施設職員対象）	令和5年1月26日	オンライン 運営職員3名
	18 職場内コミュニケーション活性化セミナー（施設管理者対象）	令和5年2月16日	オンライン 運営職員3名
	19 サービス介助セミナー（日本ケアフィット共育機構）	令和4年8月17日	(公財)日本ケアフィット共育機構 運営職員19名
	20 サービス介助セミナー（日本ケアフィット共育機構）	令和4年8月26日	(公財)日本ケアフィット共育機構 運営職員14名
	21 国際芸術祭「あいち2022」ラーニングプログラム	令和4年4月22日～8月31日	愛知芸術文化C 運営職員1名（全8回）
	22 全国公立文化施設協会定期大会・研究会	令和4年6月9日～10日	やまぎん県民ホール 運営職員1名
	23 ステージラボ大分セッション	令和4年7月5日～7月8日	iichiko総合文化センター 運営職員1名
	24 地域創造フェスティバル	令和4年7月27日	東京芸術劇場 運営職員1名
	25 実践型アートマネジメント人材育成プログラムCHISOU	令和4年7月24日～令和5年2月26日	奈良県立大学 運営職員1名（全14回）
	26 全国劇場・音楽堂等職員アートマネジメント研修	令和5年1月26日～2月23日	オンライン 運営職員2名
	27 鑑賞プログラムフォーラム「対話型鑑賞のこれまでとこれから」	令和4年8月20日～21日	東京国立博物館 運営職員1名
	28 一般廃棄物管理責任者研修	令和4年9月14日	豊中市立環境交流センター 運営職員1名 JCD本社1名
	29 劇場職員セミナー2022	令和5年1月20日	愛知県芸術劇場 運営職員2名
	30 サービス介助セミナー補講	令和5年1月17日	文化芸術センターパート職員全員
	31 大阪府公立文化施設協議会北部地区協議会	令和5年1月23日	高槻城公園芸術文化劇場 運営職員1名
	32 舞台技術講座	令和5年1月11日～12日	札幌文化芸術劇場 運営職員1名
	33 文化芸術ホール整備に関するシンポジウム・ワークショップ	令和5年1月9日	赤坂区民センター 運営職員1名
	34 ウォッシュにならない為のSDGsの適切な情報発信	令和5年1月5日～1月31日	職員全員
	35 大阪府公立文化施設協議会総会	令和5年3月8日	フェニーチェ堺 運営職員1名
	36 人権問題事業者学習会	令和4年8月16日～11月15日	オンライン 運営職員4名
	37 音響照明ワークショップ研修	令和5年2月21日	伝統芸能館 運営職員6名 (大阪共立講師)
	38 音響照明ワークショップ研修	令和4年8月17日	伝統芸能館 運営職員6名 (大阪共立講師)
	39 他館自主事業研修	令和5年2月3日	茨木市市民総合センター 運営職員1名

7. 収支報告書

令和4年度（2022年度）豊中市市民ホール等 収支報告書

【収入の部】 (単位:円 税込)

費 目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B)－(A)	備 考
指定管理料	422,934,000	422,958,521	24,521	
利用料金(文芸・ローズ)	142,237,000	146,152,582	3,915,582	施設利用料金、付帯設備利用料金
利用料金(伝統芸能館)				
利用料金(市民ギャラリー)				
文芸センター駐車場料金収入	13,800,000	13,100,100	△ 699,900	
自主事業収入	58,300,000	30,761,168	△ 27,538,832	チケット収入、助成金収入 等
友の会会費収入	2,100,000	1,216,000	△ 884,000	年会費収入
その他収入	1,200,000	643,835	△ 556,165	チケット郵送手数料、コピー代 等
収入合計	640,571,000	614,832,206	△ 25,738,794	

【支出の部】

費 目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B)－(A)	備 考
人件費	182,972,000	183,183,000	211,000	給与、手当、通勤費、社会保険料、福利厚生費 等
事業費				
利用料金学校減免制度	5,000,000	1,358,027	△ 3,641,973	出演料、共催負担金 等
出演料及び委託料等	106,600,000	80,115,927	△ 26,484,073	施設利用料、付帯設備利用料、友の会経費 等
物件費(事業費)	111,600,000	81,473,954	△ 30,126,046	出演料及び委託料、宣伝印刷費、会場費 等
物件費(施設維持管理経費)				
光熱水費(文芸)	44,500,000	54,162,183	9,662,183	
光熱水費(アクア)	12,107,000	16,303,414	4,196,414	
光熱水費(ローズ)	7,133,000	9,975,006	2,842,006	
光熱水費(伝統芸能館)	2,000,000	3,089,660	1,089,660	
光熱水費(市民ギャラリー)	960,000	557,657	△ 402,343	
修繕費	10,000,000	9,982,192	△ 17,808	※精算対象(清算の部参照)
備品購入費	1,000,000	993,723	△ 6,277	※精算対象(清算の部参照)
設備・警備・清掃管理業務費	113,821,200	118,616,561	4,795,361	臨時警備費、廃棄物処理費、アクア維持管理費(按分)含む
市民ギャラリー 共益費	1,173,000	1,173,132	132	
ローズ維持管理費(按分)	14,460,000	13,484,174	△ 975,826	
コミュニケーションロビー運営費	700,000	644,545	△ 55,455	行政財産使用料
舞台操作・保守管理費	111,163,800	111,163,800	0	
物件費(施設維持管理経費 計)	319,018,000	340,146,047	21,128,047	
物件費(事務経費)				
旅費交通費	1,320,000	870,401	△ 449,599	
会議費	132,000	1,070	△ 130,930	
消耗品費	4,752,000	3,837,561	△ 914,439	一般管球、消耗品 等
印刷製本費	2,640,000	2,235,197	△ 404,803	各種用紙、催事案内、コピー代 等
通信運搬費	2,640,000	2,708,721	68,721	電話、インターネット、郵送代 等
広告宣伝費	6,600,000	6,103,651	△ 496,349	情報紙、ホームページ運営費 等
使用料及び賃借料	6,983,000	4,596,341	△ 2,386,659	コピー複合機、パソコン、チケットシステム 等
事務備品費	264,000	332,740	68,740	事務所備品 等
保険料	1,200,000	1,143,340	△ 56,660	施設賠償責任保険、興業中止保険 等
燃料費	66,000	34,298	△ 31,702	
負担金	120,000	403,400	283,400	公文協会費、研修会参加費 等
手数料	132,000	1,167,748	1,035,748	金融機関手数料 キャッシュレス決済手数料
公租公課	132,000	69,400	△ 62,600	収入印紙
物件費(事務経費 計)	26,981,000	23,503,868	△ 3,477,132	
支出合計	640,571,000	628,306,869	△ 12,264,131	
収 支	0	▲ 13,474,663		

【精算の部】

項目	予算額(A)	決算額(B)	差額(B)－(A)	備 考
【戻入】豊中市への精算金	0	-6,277		備品費余剰分
【戻入】豊中市への精算金	0	-17,808		修繕費余剰分
【戻入】豊中市への精算金	0	-3,641,973		学校減免利用補助金余剰分
【補償】豊中市からの補償金	0	9,260,336		光熱費(電気・ガス)高騰にかかる補償
収 支	0	5,594,278		

(参考) 利用料金収入月別一覧

(単位: 円/税込)

施設名/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
文化芸術センター	10,693,840	9,627,574	8,843,325	10,790,728	10,850,252	10,719,295
ローズ文化ホール	1,337,910	1,022,693	858,393	2,031,511	1,475,578	1,079,441
伝統芸能館	137,240	175,900	144,580	103,340	305,980	244,580
市民ギャラリー	340,000	360,000	300,000	240,000	0	200,000
小 計	12,508,990	11,186,167	10,146,298	13,165,579	12,631,810	12,243,316

施設名/月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
文化芸術センター	9,835,524	12,949,441	10,344,221	6,802,637	9,419,622	13,987,712	124,864,171
ローズ文化ホール	1,370,325	1,623,836	1,620,220	1,002,355	1,218,609	990,920	15,631,791
伝統芸能館	199,620	127,860	161,940	86,060	259,820	149,700	2,096,620
市民ギャラリー	440,000	360,000	440,000	380,000	220,000	280,000	3,560,000
小 計	11,845,469	15,061,137	12,566,381	8,271,052	11,118,051	15,408,332	146,152,582

(参考) 駐車場収入月別一覧

(単位: 円/税込)

駐車場収入 (文芸センター)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計
	1,113,700	1,046,300	1,045,600	1,189,800	1,267,800	1,130,400	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	1,110,800	1,271,900	1,013,700	821,500	994,000	1,094,600	

(参考) 友の会会費収入一覧

(単位: 円/税込)

友の会会費収入	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合 計
	102,500	63,000	139,500	12,000	7,500	12,000	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
	42,000	60,000	16,500	63,500	456,500	241,000	